

## 「日本拳法大崎倶楽部」からのお知らせ

3月は年度末で、学校では進学・進級に伴い卒業式や修了式などが行われ節目のシーズンです。

『稽古や習い事などの塾や団体』も学校同様に、様々な事を学んで自己成長したり仲間づくりをしたり、人とのかかわり方を学んだりと共通点が多くあります。

『稽古や習い事などの塾や団体』に入る動機としては、親は子どもの才能を見出したいという思いから、小さな頃から色々な習い事に挑戦させたり、興味のあるものにはどんどんチャレンジさせたいと考えます。

しかし、やらせた結果あまり成果の出ない場合や興味を失った時には、また次の新しい事へのチャレンジを応援するでしょう。必要に応じたステージの変更やステップアップは悪いことばかりではありませんが、ひとつ気をつけたいのは「けじめ」のつけ方です。

今まで『日本拳法大崎倶楽部』でも、「学業の都合」「家庭の事情」「なんとなく嫌になったから」「飽きたから」等、辞めたい・辞める理由は個々に違いますが、様々な理由で出席回数が減り、いつの間にか来なくなってしまい、そのまま退部(団)?という終わり方をしてしまう部員が見受けられました。

学校とはちがい、卒業なんかはないので、部員の都合で辞めるのが一般的で、特段に連絡や挨拶がなくても大丈夫と思うこともあると思います。

これは習い事ばかりではなく、社会に出た若者にも共通しています。会社を辞める決断ができず、「辞めます」とも言いづらい・・・嫌な事を回避してずるずると後伸ばしして、いつの間にか入社せず連絡も取れなくなってしまう。

または、突然「今日から入社しません」と電話一本で会社に来なくなる新入社員が少なくないのだそうです。お互いが消化不良を起こして、街で偶然出会っても、目をそらすような気まずい関係に...

最後のけじめのつけ方も習い事から学ぶ大切な事かもしれません。嫌になったという感情任せではなく、目標や期限を決めて最後のけじめのつけ方を教えることも塾・団体や親の役割なのかもしれません。

そこで、『日本拳法大崎倶楽部』では一つの「けじめ」のつけ方としてのルールを決めました。

- ① 今まで通り、4月始まりで翌年3月末までの登録となります。
- ② 途中、何らかの理由で長期にわたり稽古に参加できない、又は退部(団)したいという場合は、3月までは休部扱いとし、あらためて3月末の退部(団)扱いとします。
- ③ どうしてもその前には退部(団)したいという場合は、必ず毎月15日までには辞める趣旨を伝えてください。※理由は問いません。
- ④ 退部(団)者で3年以上(基本)所属した部員には、卒部(団)証書と記念品を授与します。

最後に、「終わりよければすべて良し！」何事も最後が肝心です。

せつかくならば、習い事を辞めた後に偶然出会っても、笑顔で話ができるような関係でいたいものです。次のステージでの活躍を期待すると共に、いつも応援しています。がんばれ～。

平成29年3月10日

日本拳法大崎倶楽部